

涙するとき

滝川星来

初めては、幼稚園の卒園式
パイプ椅子にスーツ姿の父
感情を表に出さない父が
手元のハンカチは使われていない
メガネが外されている
目元は手で隠され、私の方を一切見ない
歯を食いしばっている
父は泣いていた

二度目は、ノンの最後を見とった時
日が当たる窓際
穏やかに微笑む父
私は一緒に床に座って
愛猫を直視出来なかった
父はメガネを外す
目頭を抑えて
息を殺し
歯を食いしばる
父は泣いた

三度目は、結婚式のcmを見た時
夕食後の団らん
晩酌で気分の良さそうな父
急にティッシュ取ってという

メガネを外しながら

困惑する母と私

笑みを浮かべるも

想像しちゃってと

父は泣く

母と喧嘩した

泣きわめいた

父は微笑んでいた

感動する映画

母と私は号泣した

父は微笑んでいた

試合に負けた

落ち込む私と励ます母

父は微笑んでいた

父の目薬は刺激強め

メガネを外して

さす

うっと声が出そうになり

目頭を抑え

歯を食いしぼる

父は泣いていた

いつかまた父の涙を見ると

父と彼は似ている

母も頷く

父は微笑む

彼も微笑む

私はまだ彼の涙をみたことがない

喧嘩して泣いた

彼は微笑んだ

バイトで失敗して泣いた

彼は微笑んだ

寝坊して泣いた

彼は微笑んだ

私の涙に映る彼らは

いつも微笑んでいる

父の涙に映る私はどんな顔をしていただろう

彼の涙に映る私はどんな顔をするだろう

父の涙に映る私が

彼の涙に映る時

私の涙にも彼らが映る